

小さなことでも

太田市立太田中学校 一年 岡本 悠愛

犯罪や非行の意味を、辞典で調べてみました

た。犯罪は「法律を破ること」非行は「して

はならない、悪い行い」でした。でも、なぜ

全員が犯罪や非行という法律を破ることはい

けないうことだと知ってゐるのにしてしまふ、

「悪い人」がいるのかと疑問に思いました。

そこで母に聞いてみることに、心の底から悪い

人はいないかと思ふし、犯罪をしてはいけない

と分かっていても、どうしようもない状況に

追い込まれて犯罪に手を染めてしまふ人の方

が多いいんじゃないか。心が弱ってゐる時に

犯してしまふてゐるんじゃないか。と言

ていました。

私は「どうしようもない状況」心が弱

てゐるときという言葉が心に残りました。

私は今までどうしようもない状況を経験した

ことはありません。罪を犯してしまふ人も

罪を犯さずおまゐっている人も同じ生き物に

どのようかことがきかけで罪を犯してしま  
うのだらうかと考えてみました。私は、自分  
には相談に乗ってくれる人や、存在を認めて  
くれる人がいないかと思ひこんでしまっている  
のではないかと思いました。そして、時には  
自分のことを心配してくれたり、過ちを厳し  
く正しくくれる存在がほしいのではないかと  
思います。

犯罪、非行をなくす世の中になるために、  
私ができる事は、少しでも困っていたり、お

ちこんでいる友達や知り合いがいたらそばに  
行って話を聞いたり、励ましたりしてあげた  
いです。そうして相手の気持ちになれれば  
いいと思います。そして、自分も困っている  
ことやつらいことがあるたら正直に家族や友  
達に相談したいです。私も、自分を気にかけ  
てくれたり心配してくれる存在がいると安心  
するし、心強く感じます。だから、犯罪に手  
を染めようと考えるしまっっている人でも、自  
分を支えてくれる人がいると気がくことがで



きたら、その心にブレーキがかけられると思  
いました。

私の曾祖父は、保護司としていました。

保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直り

を支える民間のボランティアのことです。特

に、保護観察を受けている人と面会を行い、

助言や指導をするのだそうです。曾祖父は私

が、とても幼いころに他界してしまっただけです

が、とてもおだやかでやさしい人だと覚えて

います。母の両親は働いていたため、母は曾

祖父の家で過ごす事が多かったそうです。母

は保護司をする曾祖父の姿を覚えているそう

です。面会に来る方は来るときには落ちこん

でいたり、緊張で顔がこわばっていたのです

が、帰る時には、少し晴れやかなります。きりと

した顔をしていたそうです。面会をする曾祖

父は、とてもおだやかな顔で、時には好みを

流しながら話をじっくり聞いていたそうです。

曾祖父は、面会に来てくれた人は、自分の

過ちを認めて、これから明るい人生を送るこ

とができるよう頑張ろうとしている人たちは  
んだよ。私はその方たちのサポートができる  
ように、相手の立場に立って、親身になって  
話を聞きたいと思っでいるんだ。改善点を  
さなくとも、話をきいてくれる人がいるだけ  
で安心できるんだから。と母に教えてくれた  
そうです。

犯罪をしてみろ人は決まて心から悪い  
人」というわけでは好いという事が母の話で  
曾祖父の体験でわかりました。

私もこれからたくさんの人と関わると思い  
ます。人から相談を受けるときには、しか  
りと話を聞き、その人の心に寄りそいた  
す。そして、その人がこれから用いる生活  
を送るために、思いやりの心を忘れず、学  
校生活で日々の生活を送りたいです。自分  
ができる事はほんの小さな事です。その事  
地域を明るくできるきっかけになり  
と思います。